

ジュニアミュージアム

「お手つだい」

皆野小3年2年生の時の作品です

小林梨紗さん



わたしは、おかあさんのお手つだいで、せんとくものをたたみました。せんとくものをたたんでみて、きちんとたたんだりするのがむずかしいなと思いました。

わたしは、タオルや家ぞくみ

んなの下ぎをたたみました。お父さんの大きな下ぎや、大きなバスタオルをきれいにたたむのは、とても大へんでした。

つぎの日の夜、こんどは、おふろあらいを手つだいました。おふろあらいは、おふろのかべやふたをあらうのが、とても大へんでした。

はじめに、よくそうをあらいました。あらうときは、おゆが中に入っていないかだったので、あらうところがたくさんあり、ゴシゴシとこするの、とても大へんでした。

つぎに、かべをあらいました。そして、ふたもあらいました。ふたが大きかったので、がんばってあらいました。

お父さんとおふろに入っているときに、

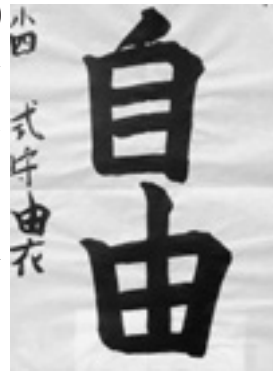
「じょうずにあらえて、気持ちがいいね。」
と言ってくれました。お母さんも、

「手つだってくれて、ありがとう。また、よろしくね。きれいにあらえたね。」
と言ってくれました。

ほめられるとうれしいので、これからもお手つだいをたくさんしたいです。
(評) 家ぞくのためにお手つだいをがんばるようすが、くわしく書けました。

皆野小5年(4年生の時の作品です)

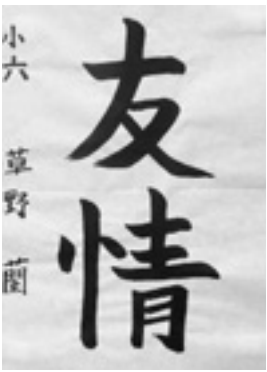
式守由衣さん



(評) 筆の入り方やおれに気をつけて、ていねいに書くことができました。

三沢小6年

草野蘭さん



(評) 「友のはらいの向きや、「情」の偏とつくりの大きさに気を付けて書けました。

「えのびるえのびる」

国神小4年

渋谷奈々子さん

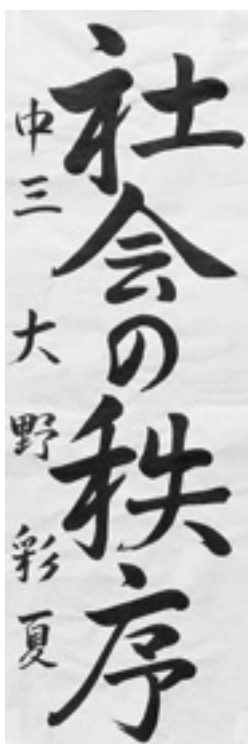


(評) ティッシュやストローをかって、工夫して、かけました。春らしい色がかえたね。



高校1年(中学3年生の時の作品です)

大野彩夏さん



(本人のコメント) 受験勉強の中、練習する回数が少なかったが、しっかりと字を書くことができたのでよかったです。また、入賞することができ、中学校生活の良い思い出になりました。